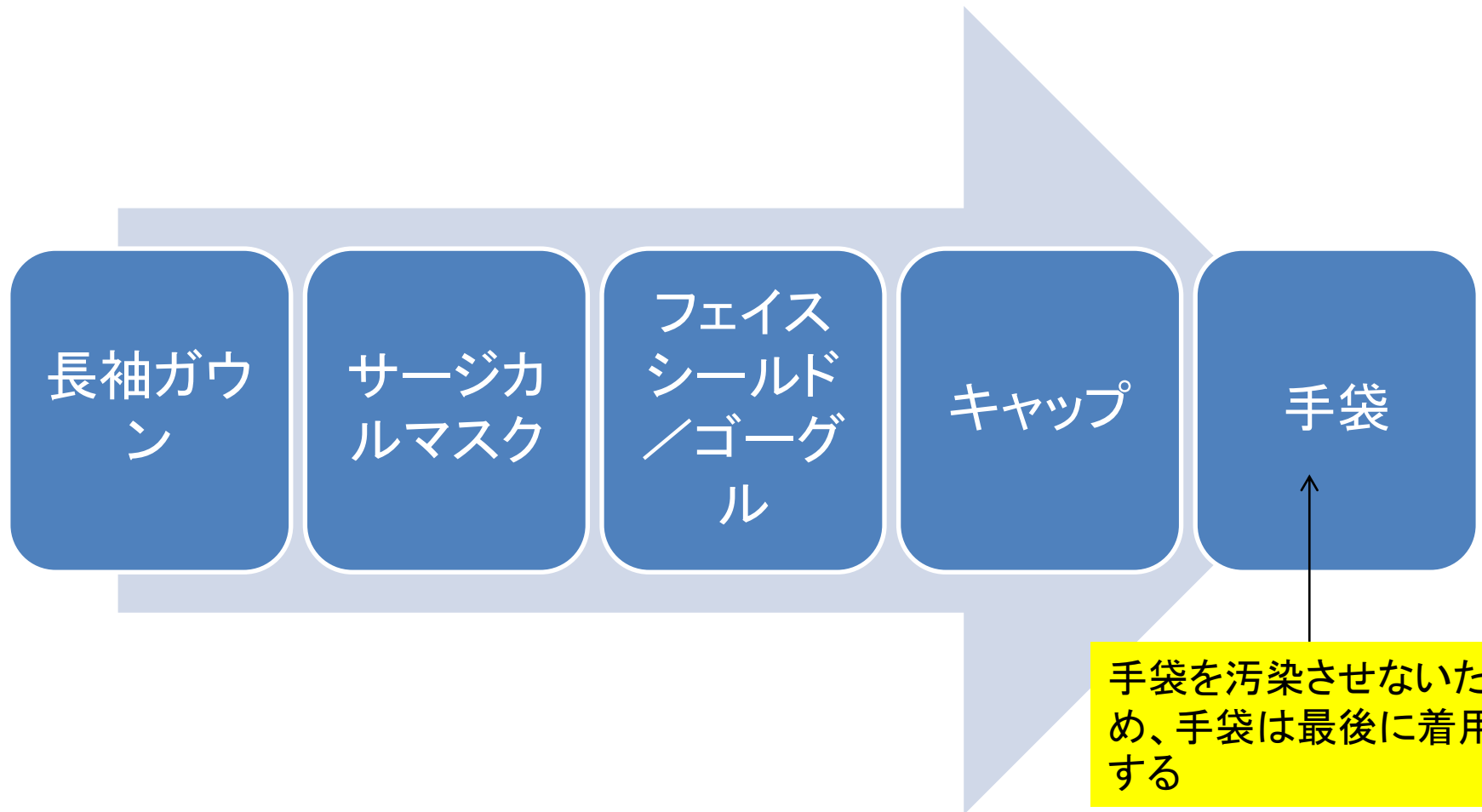


# 新型コロナウイルス感染予防 個人防護具の着脱について

杉田玄白記念公立小浜病院  
感染管理認定看護師  
刀根正彦

# 防護具の着用手順



# 1. 長袖ビニールガウン着用



①アルコール手指消毒後、  
長袖ガウンを取り出し、広  
げる

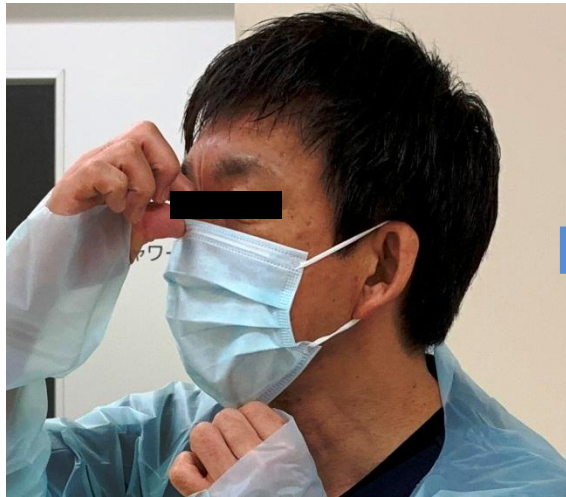


②腕を袖に通し着用する。  
首紐、腰紐をしっかりと結ぶ。



③ガウンの裾をしっかりと広  
げる

## 2. サージカルマスク、フェイスシールド ドノゴーグル着用



①マスクのひだを伸ばし、  
鼻から顎までしっかり覆う

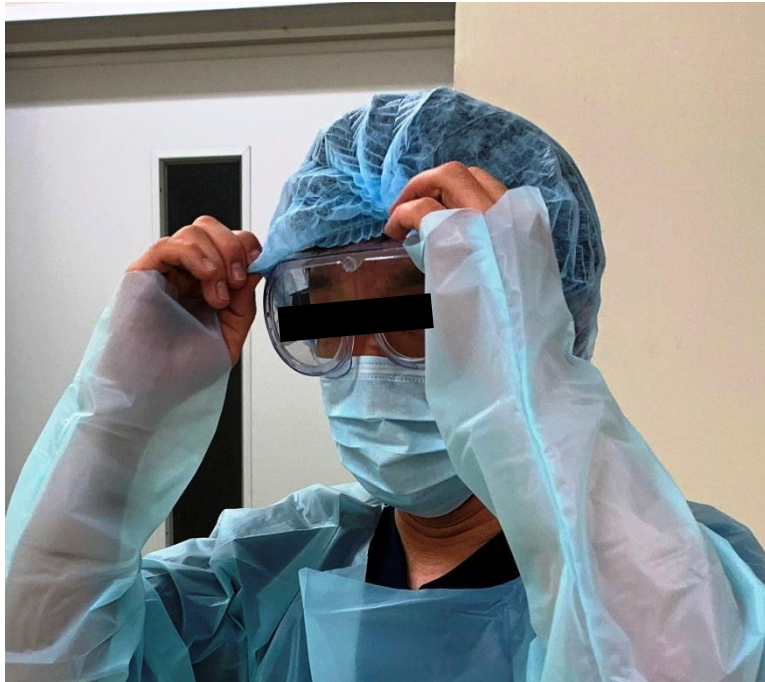


②ゴーグルのゴムひもを  
持ちながら装着する



隙間がないようゴムバンドを  
調整し緩みがないことを確認

## 3. キャップ着用



①キャップを広げて頭から被る

※髪の毛が長い方は、髪の毛を結んでからキャップを被る。



②髪、耳がキャップからはみ出さないようにしっかり覆う

## 4.手袋(一重)着用



①手袋で袖口をしっかり覆う



②完了

# エアロゾルが発生しやすい場面 では、**N95マスクの着用**を推奨

(エアロゾルが発生しやすい状況)

気道吸引、気管挿管・抜管、気管切開術、心肺蘇生、用手換気、気管支鏡検査、ネブライザー療法、誘発採痰

# ※N95マスク着用の場合



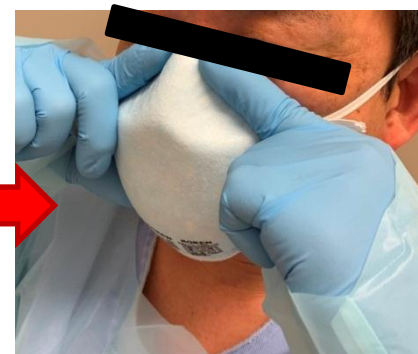
①マスクの輪ゴムを手に通し、マスクを手のひらに置く



②マスクを口に当てる



③下側のゴムひもは後頸部に、上側のゴムひもは後頭部に掛ける(ゴムひもはクロスさせない)



④鼻梁に隙間がないよう調整する。鼻梁ワイヤーを指で押さ、鼻の形状に合わせる。



⑤両手でN95マスクを覆い、息を強く吐きだし、空気が漏れていないか、息を吸ったときにマスクが吸い付く(陰圧状態)かどうか、ユーザーシールチェックをする





# ユーザーシールチェック

- N95マスクと顔の密着性を確認するため、装着時には毎回、必ずユーザーシールチェックを行う。
- N95マスクに手を当て、息を吸ったり吐いたりして、隙間がないかチェックする。
- N95マスクの脇や鼻周辺から息の漏れが感じられれば、もう一度ゴムバンドや鼻当てを調整し直し、再度ユーザーシールチェックを行う。

## ユーザーシールチェックの目的

着用時に、毎回きちんとフィットしているかを確認するためです。

## チェックの方法（手順）

漏れがなくなるまで下記の手順を繰り返してください。



①両手でマスクを覆い、息を吸ったり吐いたりします。

②空気の漏れをチェックします。



④チェックを繰り返します。

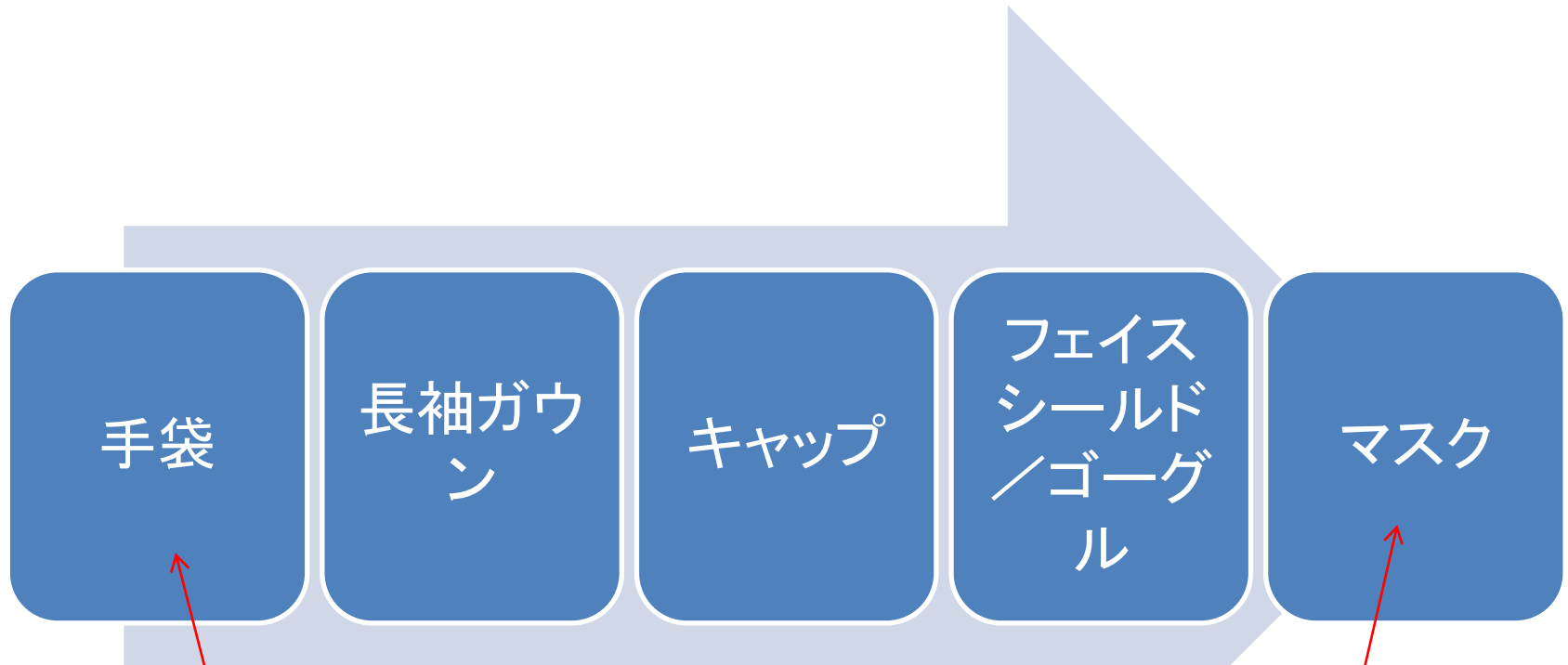


③空気が漏れている場合は、ゴムバンドや鼻当てを調整し、密着の良い位置にマスクを合わせます。

**ワンポイント!!**

ノーズワイヤが鋭角になると、頂点に隙間ができてしまうので注意!

# 防護具の脱衣手順



一番汚染している手袋から最初に脱ぐ

マスクは口・鼻は最後まで防御するため、最後に外す

# 1. 手袋を外す



①最初に手袋の上からアルコール消毒する



②手袋の袖部分をつまみ、裏返して外す



④アルコール手指消毒



③手袋の袖内側から指を引っかけて、手袋を裏返して外す



## 2. 長袖ガウンを外す

手は袖の中に残しておく



①ガウンの肩部分をつまんで首紐をちぎる



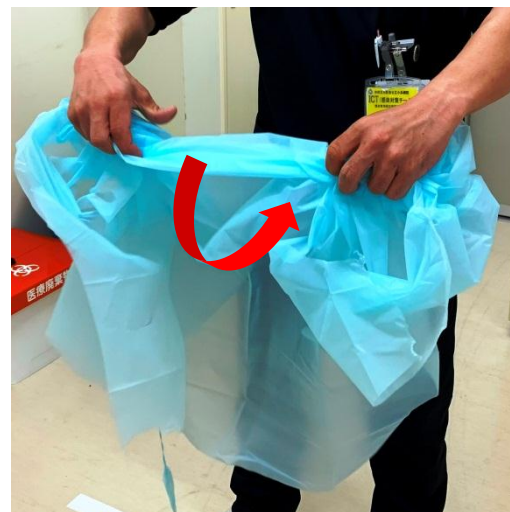
②手首の辺りまで袖を抜く



③ガウンを前方に引っ張り、腰紐をちぎる

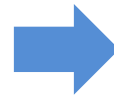


④アルコール手指消毒



④ガウンの外側を内側に織り込むように丸める

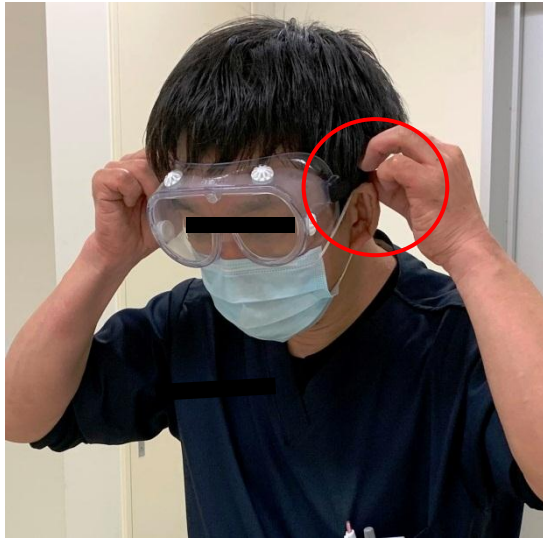
# 3. キャップを外す



① マスク、ゴーグルに触れないように注意し、キャップをつまんで外す

② アルコール手指消毒する

# 4. ゴーグル、サージカルマスクを外す



①ゴーグルの表面に触れないように注意し、ゴーグルの紐だけを持って外す

②マスクの表面に触れないように注意し、マスクの紐だけを持って外す

③最後にアルコール手指消毒



※N95マスクの場合  
マスク表面に触れないよう、ゴムひもを持って外す。